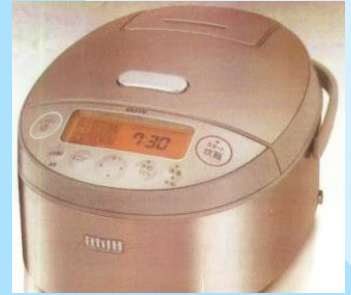




むかしの道具にみる
 暮らしの
 変化
 展



むかしの
 道具

げんぜいの
 道具

道具がどのようにへんかしたのか、みくらべてみよう!

小城市立歴史資料館企画展示室(桜城館2階)

R1.12.21(土)→R2.3.1(日)

入場無料

9:00~17:00(休館日:毎週月曜、12.29~1.4、1.14、2.11)

※お問合せ先

小城市立歴史資料館

〒845-0001

佐賀県小城市小城町158-4

TEL0952.71.1132

e-mail: bunka@city.ogi.lg.jp

人と文化と歴史が香る



令和元年度「～むかしの道具にみる～くらしのうつりかわり展」 展示資料目録

No.	資料名	使い方、備考	No.	資料名	使い方、備考
1	かき氷機 <small>ごおりき</small>	横にあるハンドルをまわすことで、氷をけずることができます。	23	木炭アイロン <small>もくたん</small>	三角形の部分に炭を入れて使います。服のしわをのぼしたり、きれいに折り目をつけるのに使います。
2	エベレストジャー	昭和時代、食べ物の温度を保つために使いました。保温・保冷用の容器です。	24	電気アイロン <small>でんき</small>	こてとおなじように、服のしわをのぼしたり、きれいに折り目をつけたりするのに使います。電気を使います。
3	はがまだい羽釜(大)	ご飯を炊く時に使いました。中にお米と水をいれ、かまどにかけて下から火をたいて使います。	25	湯たんぽ <small>ゆ</small>	冬、寒い時、中にお湯をいれて、布にくるんでふとんにいれて使います。特に、右から2番目の湯たんぽは「国策保温器」と名前が入っていることから、戦時中(第二次世界大戦中)に使われていたものと考えられます。
4	はがましゅう羽釜(小)	ご飯を炊く時に使いました。中にお米と水をいれ、かまどにかけて下から火をたいて使います。陶器でできています。	26	箱火鉢 <small>はこび</small>	はこのかたちをした火鉢。なかに火がついた炭をいれて使います。もちはこびができて、べんりです。
5	はがましゅう羽釜(小)	ご飯を炊く時に使いました。中にお米と水をいれ、かまどにかけて下から火をたいて使います。アルミでできています。	27	火鉢 <small>ひ</small>	なかに炭を入れ、へやや人をあたためるのに使います。
6	めしびつ	炊き上がったご飯を入れます。	28	火箱 <small>ひ</small>	なかの容器に炭を入れて使います。「あんか」ともいいます。
7	めしびつ入れ	めしびつを入れて保温します。	29	置ごたつ(やぐらごたつ) <small>おき</small>	やぐらの中に炭を入れて使います。「やぐらごたつ」ともいいます。
8	めしかご	風通しがいいところに置いてご飯の温度を冷まします。	30	蓄音機 <small>ちくおんき</small>	レコード盤を中央にセットし、蓄音機にある針をあてると音が鳴ります。
9	力武商店チラシ <small>りきたけしやうてん</small>	昔の商品の広告チラシ。羽釜が紹介されています。	31	レコード盤 <small>ばん</small>	蓄音機にセットして使います。レコード盤の溝に蓄音機の針をあてると音が鳴ります。
10	唐箕 <small>とうみ</small>	ハンドルを回して、中で風をおこして、軽いもみやごみ類を飛ばし、重いもみだけを下に落とします。	32	小学生向け雑誌 <small>しょうがくせいむ</small>	小学生向けの雑誌です。漫画王(1)、少女(1)。
11	しょうけ	野菜や米を洗ったり、干したりするのに使います。	33	文箱 <small>ふ</small>	中にこまごまとした日用品をいれます。
12	はかり	台車の部分に、はかりたいものをのせ、分銅を使ってつりあわせて重さをはかります。	34	勉強機 <small>べんきようづくえ</small>	
13	はかり	はかりたいものを右の皿にのせ、左に分銅(おもり)をさげて、つりあわせて重さをはかります。	35	文房道具 <small>ぶんぼうどうぐ</small>	小学生たちが使ったえんぴつや消しゴム、コンパスです。
14	一斗樽 <small>いっとだる</small>	お米などの量をはかるときに使います。1斗(10升、100合)入ります。	36	学習ノート <small>がくしゅう</small>	学習のときに使われたノートです(小学生用)。国語(1)、算数(1)、社会(1)。
15	すり切り棒 <small>すりきりぼう</small>	お米などを入れて、1斗分をはかるときに使います。	37	置きランプ <small>おき</small>	むかし、へやを明るくするために使われたどうぐです。真ん中の芯にあぶらをひたして燃やします。明るくするために、芯の周りをガラスの「ほや」というもので囲います。
16	ます	米や液体の量をはかります。「入れ子」(中に収納可能)になっています。左から5勺(1)、1合(1)、2合5勺(1)、5合(1)、1升(1)、1斗(1)のますです。	38	教科書 <small>きやうかしよ</small>	尋常小学校の読書科で使われた教科書です。
17	さおばかり	はかりたいものを左につるし、右に分銅をさげて、つりあわせて重さをはかります。	39	教科書 <small>きやうかしよ</small>	修身(いまの道徳)の教科書です。みんながまもるべき教えやよくそくをまなびます。
18	そろばん	下のわくに玉が5つあるそろばん(5玉)です。玉をはじいて計算します。むかしは文字の「読み」「書き」と「そろばん」をかならず学習していました。	40	賞状 <small>しょうじやう</small>	昭和7(1932)年の寒稽古の皆勤賞の賞状です。
19	機械式卓上計算機 <small>きかいしきたかじやうけいさんき</small>	ハンドルをまわして計算をします。たし算、ひき算、かけ算、わり算などができます。黒色の計算機は昭和20年代、右側の計算機は昭和40年代につくられました。	41	卒業証書 <small>そつぎやうしやうし</small>	昭和7(1932)年の桜岡尋常高等小学校(現在の桜岡小学校)の卒業証書です。
20	洗たく板 <small>せんたくいた</small>	みぞがある板の上で洗たく物をもんだり、たたいたりしてあらいました。	42	ハンドル式黒電話機 <small>しきくろでんわき</small>	右のハンドルをまわし、「交換手」と呼ばれる人に話相手の番号をつたえると、交換手が相手につないでくれて、話することができます。
21	たらい	木や金属でできていて、水やお湯を溜めて使います。	43	ダイヤル式黒電話機 <small>しきくろでんわき</small>	電話番号と同じダイヤルを右まわりに回転させると、相手につながり話すことができます。
22	こて	いまのアイロンと同じように服のしわをのぼしたり、きれいに折り目をつけるのに使います。火鉢などで温めて使います。	44	柱時計 <small>はしらどけい</small>	ぜんまいの力で動きます。